

スピカBC(隅棟用換気棟)

《施工マニュアル》

平型化粧スレート・アスファルトシングル用自然換気棟

産業技術研究所防水性能試験
28産総 第2-316号

94

☆仕様

材質:ガルバリウムカラー鋼板

標準色:ブラック、ウッティイブラウン、グリーン 梱包:1ケース1本入り

品番	YY3001BC 1.5尺タイプ	YY3002BC 3尺タイプ	YY3003BC 6尺タイプ
換気棟本体			
捨水切	 L=500×2	 L=955×2	 L=1720×2
ステンレス コーススレッド	 X 5本(1本予備)	 X 7本(1本予備)	 X 9本(1本予備)
スペーサー	 L=380×2	 L=835×2	 L=1600×2
野地板 開口寸法	 W(隅棟巾+15×2)×L400	 W(隅棟巾+15×2)×L855	 W(隅棟巾+15×2)×L1620
捨水切 開口寸法	 W20×L400	 W20×L855	 W20×L1620
有効開口面積	108cm ² /本	216cm ² /本	396cm ² /本

■ 換気口は天井面積の 1/900 を設計基準として設置本数を決定します。(住宅金融支援機構の小屋裏換気基準)

※施工上のご注意及び本製品使用地域について

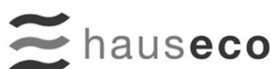
- 換気棟以外の施工要領については屋根材の施工説明書を参考にしてください。
- 換気棟を踏みつけたり座ったりしないでください。破損や変形により雨漏り等の原因となります。
- 換気棟を切断しないでください。又、割付けや長さ調整は棟包で行ってください。
- 換気棟は分解しないでください。組み直したり改造はズレ等で雨漏りの原因となります。
- 屋根勾配は2.5寸～6寸勾配の範囲でご使用ください。
- 平型化粧スレート(総厚さ11mm)・アスファルトシングル(総厚さ5.5mm)で使用出来ます。
- 積雪30cm以下にて使用してください。
- この換気部材は連続して施工する事はできません。
- 軒先換気より垂直距離90cm以上離して施工して下さい。
- 木下地や換気部材を施工する時は、あらかじめドリルで下穴(3mm)を開けて屋根材が割れるのを防止してください。

又、下記の条件下においては、使用鋼板の耐食性を著しく低下させ、錆の発生及び促進させる可能性がありますので、ご使用時にはご注意ください。

- 塩害・亜硫酸ガス・コンクリート・モルタル等アルカリ性物質などの影響がある場合。
- 銅・鉛・合金類等、異種金属を使用した取付金具・付属物との接合がある場合(電食による腐食発生)。
- 銅・鉛等の物質を含有した薬剤処理物(銅系防蟻処理木材など)との長期接触がある場合。
- シンナーなど有機系溶剤が付着する場合。
- 湖沼・河川・沿岸部などの周辺で常に水しぶきを浴びたり、雨露などで水分に接している場合や吸湿物との常時接触及び接合する場合(濡れたままの状態)。

施工基準

- 設計者と十分打合せの上ご使用ください。
- 施工前に部品、開口部の位置を十分ご確認ください。
- 施工は、必ず専門業者が行ってください。

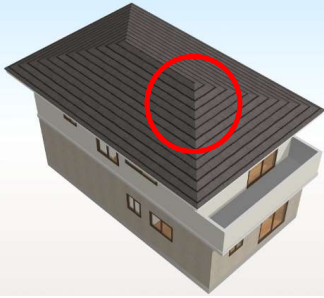


株式会社ハウゼコ
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル6F
T 06-4963-8266 F 06-4963-8267
WWW.hauseco.jp

☆施工手順

1. 換気棟取り付け位置を決める

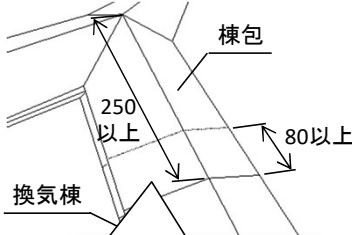
【寄棟】



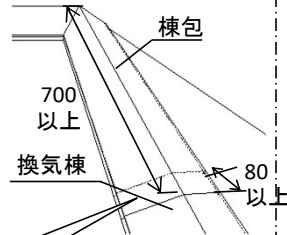
【片流れ】



【寄棟】



【片流れ】



上図の様に、換気棟取り付け位置を決める。
重ね代は80mm以上とする。

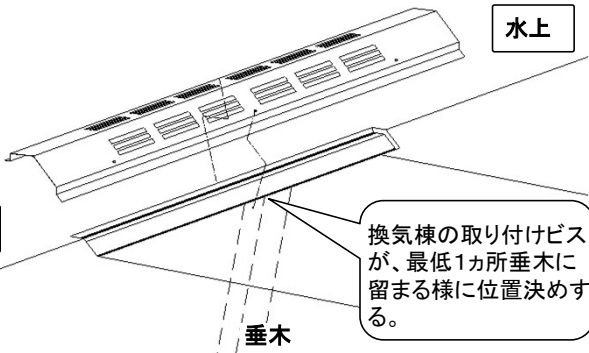


野地板

野地板小幅物が発生しない様に、換気棟の位置を決める。

水上

水下



換気棟の取り付けビスが、最低1カ所垂木に留まる様に位置決めする。

垂木

換気棟ビス位置

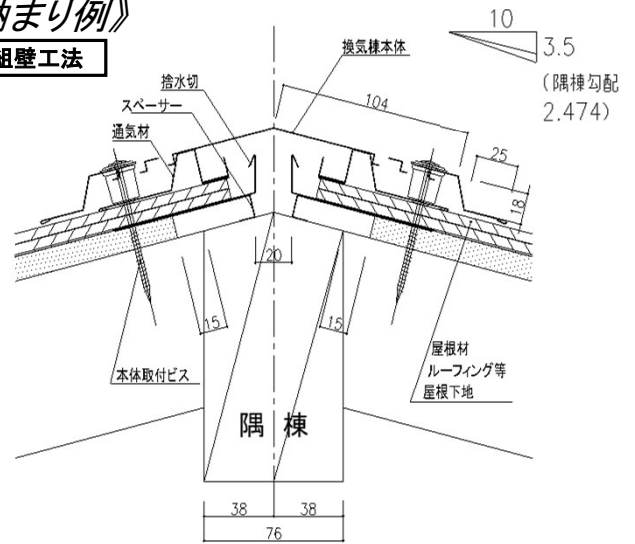
換気棟ビス位置は、隅棟芯と垂木芯より75mmずれるのでご注意ください。

垂木芯

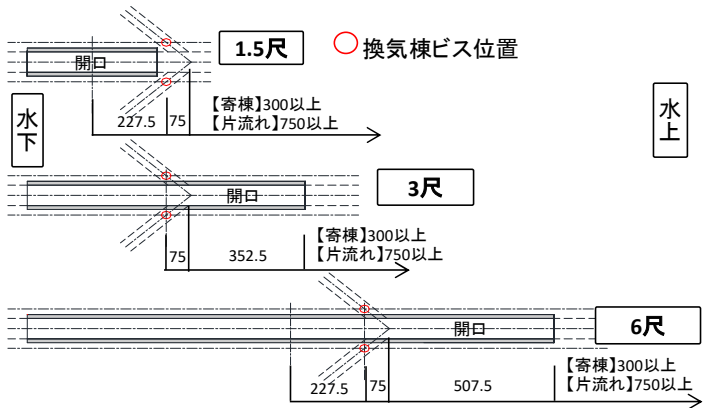
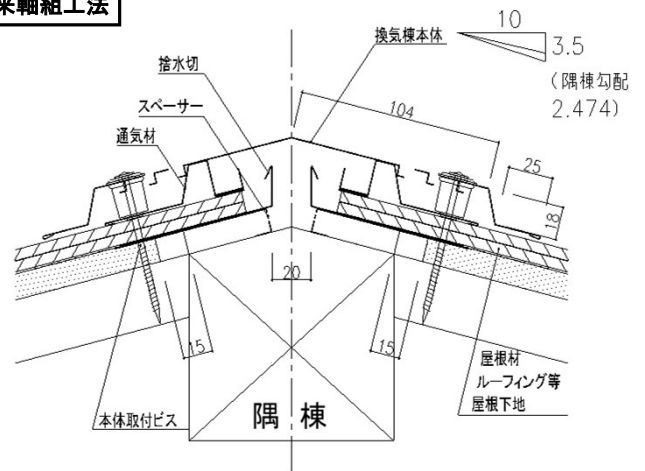
隅棟芯

《納まり例》

枠組壁工法

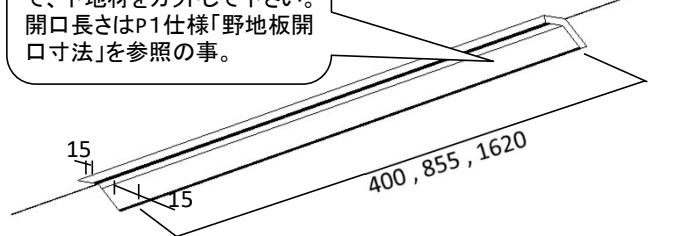


在来軸組工法



2. 開口部を開ける

隅棟山寸法(隅棟肩流れ寸法)から15mmプラスした寸法で、下地材をカットして下さい。開口長さはP1仕様「野地板開口寸法」を参照の事。

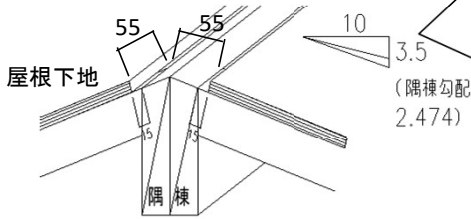


2. 開口部を開ける



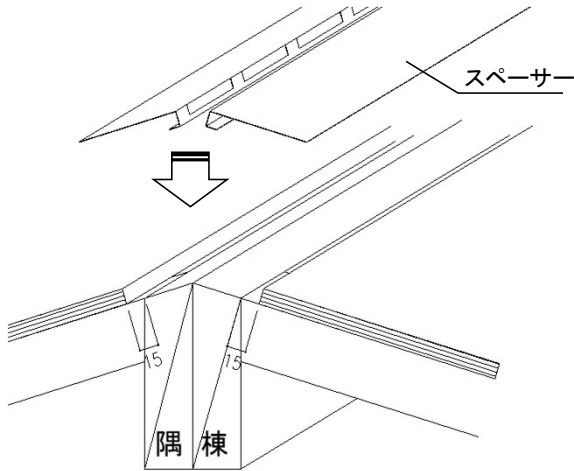
屋根断熱の場合も、換気棟までの換気経路は必ず確保して下さい。

開口例

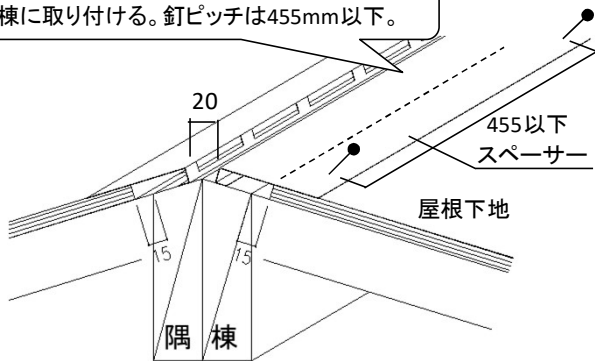


隅棟山寸法(隅棟肩流れ寸法)から15mmプラスした寸法で、下地材をカットして下さい。
・開口例:
枠組壁工法(3.5寸勾配)の場合、隅棟頂点より55の位置。

3. スペースを取り付ける

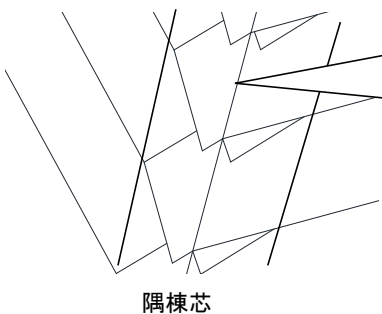


開口部に、スペースを中心20mm開けて、隅棟に取り付ける。釘ピッチは455mm以下。



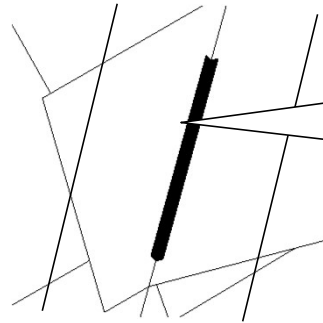
4. ルーフィングを張る

ルーフィングの施工は、屋根材の施工説明書を参考にする。



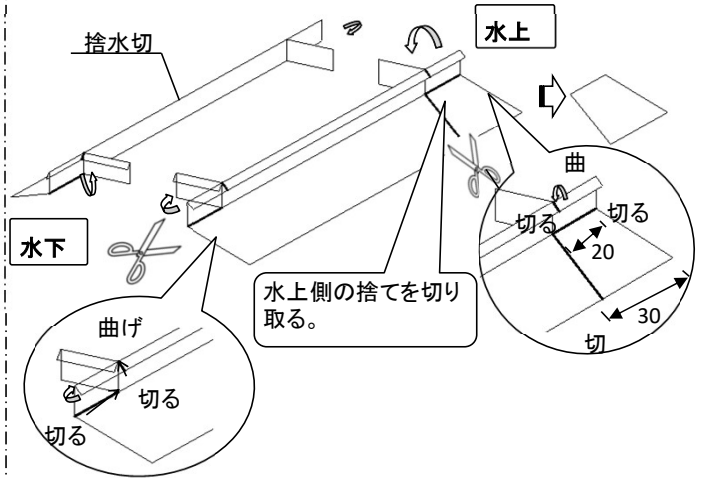
ルーフィング等を桁行き方向に横張りし、隅棟芯に沿って、ルーフィング等を増し張りする。

5. ルーフィングを切り欠く

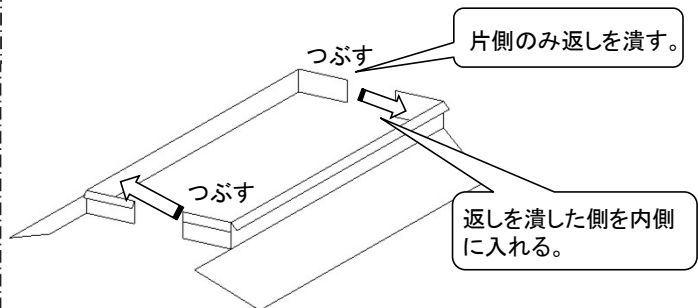
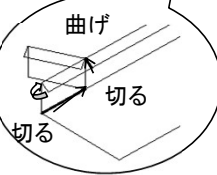


スペーサーに沿って、20mm巾の開口を開ける。開口の長さは、P1仕様の「捨水切開口寸法」を参照の事。

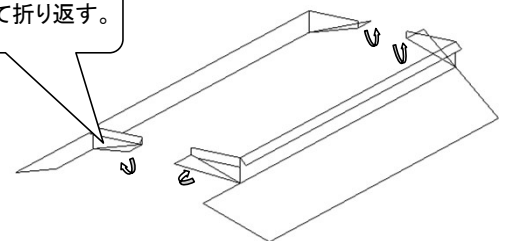
6. 捨水切を加工する



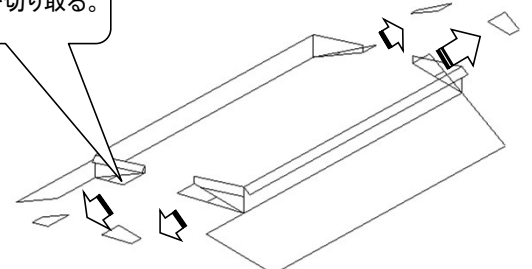
水上側の捨てを切り取る。



勾配に合わせて折り返す。

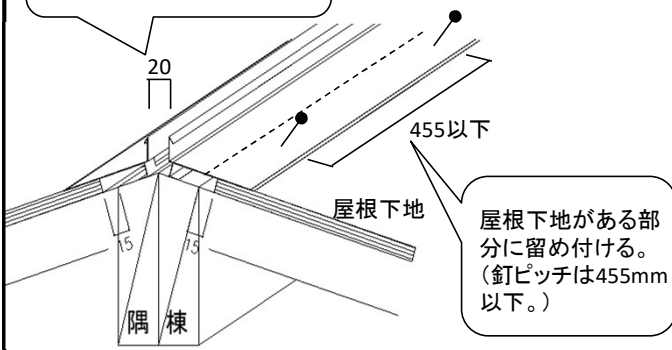


重なる部分を切り取る。

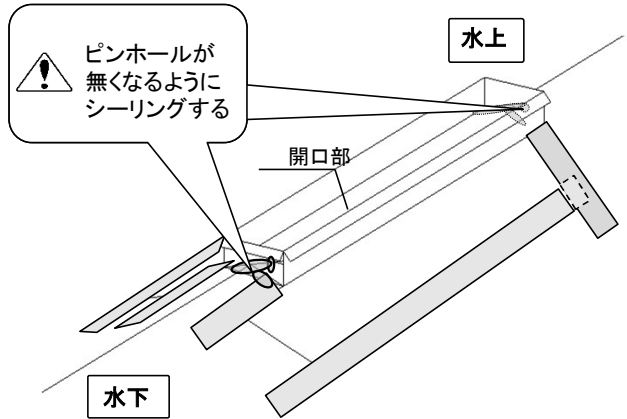


7. 捨水切を施工する

ルーフィングの開口に沿って、捨水切の開口を20mm(スペーサー)に合わせて施工する。

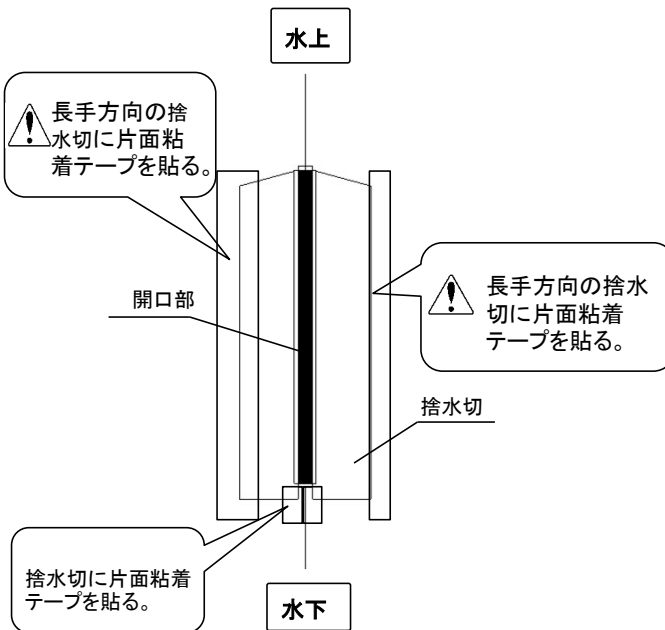


屋根下地がある部分に留め付ける。(釘ピッチは455mm以下。)



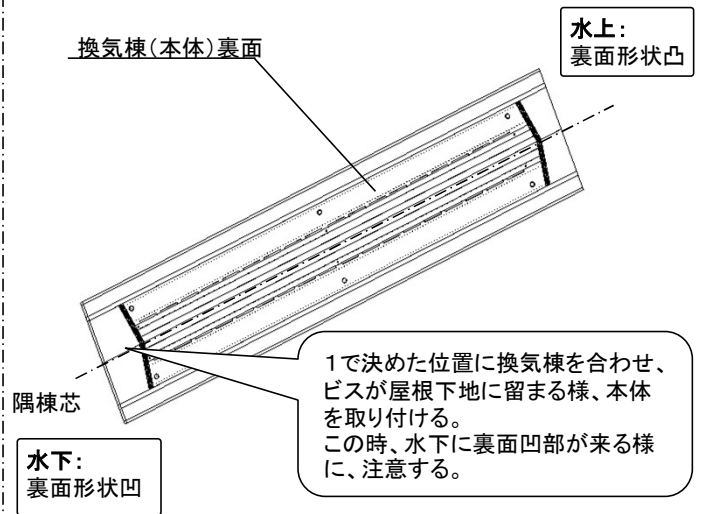
8. 換気棟を取り付ける

屋根材の施工は、屋根材の施工説明書を参考にする。



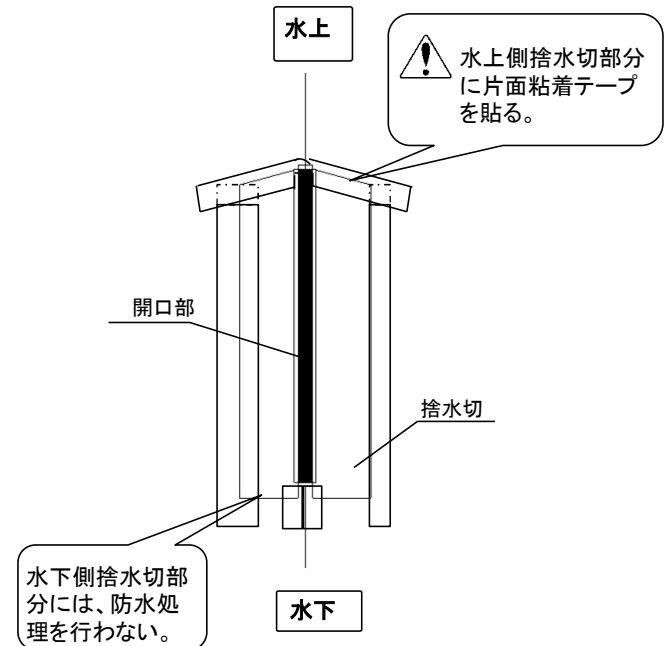
捨水切に片面粘着テープを貼る。

長手方向の捨水切に片面粘着テープを貼る。



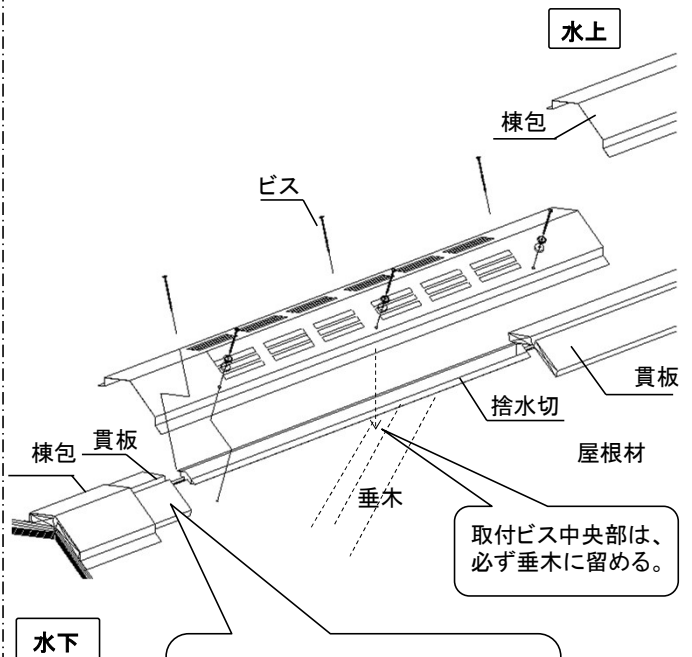
1で決めた位置に換気棟を合わせ、ビスが屋根下地に留まる様、本体を取り付ける。この時、水下に裏面凹部が来る様に、注意する。

水下:裏面形状凹



水上側捨水切部分に片面粘着テープを貼る。

水下側捨水切部分には、防水処理を行わない。



取付ビス中央部は、必ず垂木に留める。

棟包・換気棟は左図の様に、水下より施工する。棟包の下地として、15~18×90の貫板を取り付ける。重ね代は80mm以上とる。

水下